

【外国語活動・小4・「Unit8 This is my favorite place.」①

育成を目指す資質・能力

自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりすることができる。

ICT活用のポイント

発音に不安のある語句や表現を自分の好きなタイミングで何度でも聞いて練習することができる。

【つかむ】

本時のめあてをつかむ
自分の好きな校内の場所に友達
を案内する

【追究する】

道案内の練習をする
道案内をする

【まとめる】

振り返りカードの記入をする

事例の概要

- 自分が気に入っている校内の場所に友達を案内するペア活動を行う。
- Go straight. / Turn left. などの道案内で使用する表現や music room / teachers' office などの教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。

【事例における I C T 活用の場面】

- 活動で用いる語句や表現を A L T が録音し、授業支援ソフトで児童に配布する。
- 児童は活動に向けての練習中、発音に不安のある語句や表現をタップし A L T の発音を聞きながら練習する。

【外国語活動・小4・「Unit8 This is my favorite place.」②

【事例におけるICT活用の場面】



活動で用いる語句や表現を、教師がカードで送信。カードをタップして、再生ボタンを押すとA L Tの音声再生されるようになっていた。



「ここがお気に入りの場所です。」という表現が難しいから何回も聞いて練習しよう。



発音に不安のある語句や表現を事前にたくさん練習できたため、その後のペア活動に自信をもって取り組んでいた。

発音に関する児童の質問には教師が机間指導を行い、個別に対応することが一般的であった。そのため、対応できる人数には限度があり、児童は挙手をしたまま教師が対応するのを待つ時間があった。

本事例にあるICTの活用によって、児童は教師が対応するまで待つ必要はなく、個別に何度でも必要な語句や表現を自分の好きなタイミングで確認することができていた。そのため、十分に練習した後で活動を行うことができ多くの児童が自信をもって取り組んでいた。

また、活動が終わった後でも、もう一度確認したい語句や表現があった場合には、自主的に発音を確認している児童もいた。

【活用したソフトや機能】

- ・学習支援ソフト
- 音声録音再生機能